

## 大学院医学研究院 幡野雅彦教授の最終講義が行われました

2023年3月をもって退職される大学院医学研究院 幡野雅彦教授（疾患生命医学）の最終講義が、2月17日（金）に医学系総合研究棟第一講義室にて行われました。

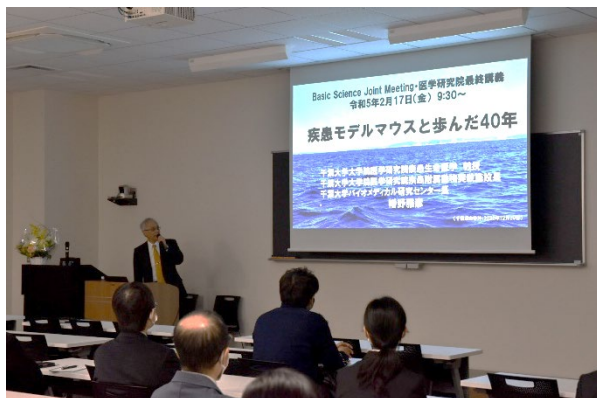
幡野教授は、千葉大学医学部を卒業後、千葉大学医学部附属病院小児科に入局し、医学部高次研生体情報分野助手等を経て、2007年より千葉大学医学部の教授に就任されました。疾患モデルとしての遺伝子改変マウスの作製と解析結果をはじめ、多くの研究業績を発表し、本学の教育・研究に貢献いただきました。また、2015年よりバイオメディカル研究センター長および動物実験施設長を兼任されました。

最終講義は、幡野先生ご自身が思い入れのある金曜日の午前9時30分（Basic Science Joint Meeting [註] と同時時間帯）より、演題『疾患モデルマウスと歩んだ40年』として、これまで積み上げてこられた研究・共同研究についてお話しされ、教職員や学生、研究者など約80名とオンライン参加者35名が、熱心に聴講しました。

講義終了後は、徳久剛史前千葉大学長と本橋新一郎教授（免疫細胞医学）よりご挨拶があり、幡野教授との思い出を語られました。その後、医学部スカラシップ学生より感謝の気持ちを込めて謝辞があり、疾患生命医学とバイオメディカル研究センターの教職員、「世界の医療を考える会」（幡野教授顧問）の学部生から花束が手渡されました。

幡野教授の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

[註] 基礎研究者同士の情報交換や、若手研究者・大学院生等が論文発表前のデータを発表し、ディスカッションを行う場。



最終講義の様子



最終講義の様子



徳久剛史前千葉大学長のご挨拶



学部生より花束贈呈